

第 6 回府中市庁舎建設基本計画市民検討協議会 （要旨）

平成 25 年 11 月 16 日（土）

午前 10 時から正午まで

ふるさと府中歴史館 3 階会議室

- 1 出席委員 21 人
- 2 欠席委員 4 人
- 3 事務局 政策総務部政策課長 古森、
庁舎建設担当副主幹 茂木、庁舎建設担当主査 伊橋
(株)日本設計 成田、佐藤、村瀬
- 4 傍聴者 1 名
- 5 議事 前回のまとめ
職員検討会における意見の紹介
府中市庁舎建設基本計画市民検討協議会提言書（案）について
全体ディスカッション
その他
- 6 資料 資料 1 職員検討会における意見について
資料 2 府中市庁舎建設基本計画市民検討協議会提言書（案）

【要旨】

茂木 第6回府中市庁舎建設基本計画市民検討協議会を始めます。
委員定数25人中19人が出席しており、過半数を超えているため本協議会は有効に成立します。(後に2名到着)

傍聴希望者がいらっしゃるので、傍聴を許可してもよろしいでしょうか。

(※良いとの声あり。傍聴者入室)

(※配布資料の確認)

茂木 【本日の流れ】

- ・ 「前回のまとめ」はこれまでどおり、前回検討して頂いた内容を振り返る。
- ・ 「職員検討会における意見の紹介」は事務局から主な内容を説明する。
- ・ 「提言書の案」については内容を簡単に説明する。この場で細かいところまで目を通して頂くのは難しいと思うので、持ち帰って時間をかけて見て頂きたい。
- ・ 全体ディスカッションでは、第1回から第5回まで様々なテーマに沿って意見を頂いたが、今まで言い残した意見や、テーマ以外での新庁舎に対する考えや意見等、お一人ずつ短い時間とはなるがご発言を頂きたい。
- ・ 「その他」は、最終回の内容を説明する。

委員 【質問1】

- ・ 前回、資料を出して頂くと約束していた50年先の人口推移についての資料がないようだがどうなっているか。

茂木 ・ 資料としては用意していないので、後ほど口頭にて説明する。

1 前回のまとめ

伊橋 ・ 前は「個性ある新庁舎ふちゅうで実現」ということで、市と市民をつなぐ身近な窓口というメインテーマを設けて行い、1.手続きがわかりやすい窓口にするために、2.身近な存在の窓口にするために、3.待ち時間も有効に過ごせる市庁舎という3つのテーマでディスカッションを行った。

【テーマ1 手続きがわかりやすい窓口にするために】

<案内・サイン>

- ・ 案内部署を入口付近に配置し、案内人を複数名配属する。
- ・ 色を用いて大きな文字で表示する。
- ・ 動線などを床に表示するといった意見を頂いた。

<窓口形態・記載台・発券機>

- ・ 福祉・障がい者・子育て・高齢者に関する総合窓口を設置するという意見を頂いた。
- ・ 整理券を発行し、待っている人数の表示をしてほしいという意見があったが、こちらについては、現在、携帯電話で混雑情報サービスを提供している。

【テーマ2 身近な存在の窓口にするために】

＜案内サービスの充実＞

- ・ 総合案内、コンシェルジュカウンターを設置し、手続きなどを案内できるコンシェルジュを配置する。
- ・ 職員と一緒に回ってくれるようなコンシェルジュを配置してほしいという意見も出た。

＜プライバシーの配慮＞

- ・ 相談窓口は顔が隣に見えないだけでなく、話などを聞かれないような配慮が必要であるという意見が出た。

＜その他＞

- ・ 高齢者や子供関連課を低層階に設置し、誰でも利用しやすい高さのカウンターを配置するといった意見も頂いた。

【テーマ 3 待ち時間も有効に過ごせる庁舎】

＜キッズコーナーの設置＞

- ・ 親が手続きをしている間に子供の様子が見られるようなコーナーや、子供をみてもらえるスタッフを配置するという意見を頂いた。

＜情報提供の実施＞

- ・ 市内の情報として、お祭り等の様子を映像で提供するようなことや、市民の作品などの展示スペース、啓発教育のための資料を置くといった意見も頂いた。
- ・ 待ち時間をできる限り少なくすることが前提であるが、物販飲食店の設置、情報交換、待合場所としてのカフェを設置などの意見を頂いた。

＜その他＞

- ・ 職員側にも待ち人数を表示して、臨機応変にいろいろな課の職員が対応できるようにするという意見を頂いた。
- ・ 「ふるさと府中歴史館」などの他の施設もあるので、なんでも本庁舎に設ける必要はないという意見も出た。

【前回の議事録の確認】

(※議事録に関する訂正事項等：無し)

【前回出された質問に対する回答】

茂木

＜人口推移＞

- ・ 府中市の人口は平成 25 年 10 月 1 日現在では約 25 万 1 千人である。
- ・ 来年度からの計画となる第 6 次府中市総合計画では 50 年先までは推計しておらず、平成 42 年までとなっている。
- ・ 平成 36 年には 26 万人を超え、平成 37 年までは少しずつ伸び続ける。平成 38 年以降、平成 42 年までは少しずつ減少するものの平成 42 年においても 26 万人を下回らないという推計である。
- ・ 平成 42 年以降については、人口問題研究所ホームページで全国の市町村の人

口推移を確認することができる。その内容によると、府中市は42年以降、5年刻みではあるが、47年には26万人を下回るという推計になっている。

- ・ 平成52年は25万3千人となっており、これらをもとに庁舎の建設について意識する必要がある。

<来庁者数>

- ・ 10月1日から31日までの1か月の間、平日において本庁舎に来庁している人数を調査した結果、一日平均約3,100人であった。参考に、町田市では約3,700人、立川市では約2,000人である。
- ・ 府中市の職員は26市において、また、全国的にも職員数が少ない自治体であり、人口に対しての職員が少なく一人の職員が対応する市民の数が多い。現在庁舎にいる職員が730人程度であり、職員一人あたりの一日に対応する市民の数は、今回の調査結果からすると4.24人となる。町田市は2.85人、立川市は3.30人で他自治体よりも多いことがわかる。その分対応する時間がかかり、お待たせする時間が増えているのではないかという状況が認識できた。
- ・ 人口に対する一日あたりの来庁者の割合は、府中市(25万人)で1.23%(3100人が1日に来庁する)、町田市(41万人)は0.88%、立川市(17万5千人)で1.11%ということで、府中市は全体の人口に対して、他市と比べて多くの市民が本庁舎に足を運んでいるということがわかる。
- ・ 今後、人口が微増していく中で来庁者の割合がこれだけあるということは、これから先も本庁舎に足を運ぶ市民が増えると考えられる。そういった中で、どう市民に対応すればお待たせしないサービスが可能かということがポイントとなると思う。
- ・ 例えば、各部署の執務空間が狭く限られたレイアウトとなっているせいで、職員の動線が複雑になり時間のロスが発生し、対応に時間がかかっていることも考えられる。今後新しい庁舎になった際には、レイアウトの工夫も行いながら一つの業務にかかる時間を最小限に抑えていくことで、来庁者に対応する時間を削減するとともに、人件費削減にもつながる可能性がある。

<市議会からの意見>

- ・ 市議会からの意見を紹介する。議場を含めた議会機能が主たる内容となる。
- ・ 議場については市民の皆様にもいろいろ議論頂いた。年に限られた日数しか使わないものであることから、空いた期間の有効活用をしたほうがよいのではないかという意見が出た。
- ・ 今の議場はバリアフリー対応していない。今後、車いすの方が議員として当選する可能性もあるのでバリアフリー対応が可能な議場とすること。耳の不自由な方が傍聴する場合や議員に当選する場合も考え、磁気ループという特殊な補聴器をつけマイクからしっかりと音が聞こえるようなシステムもあるので、そういったものも含めたバリアフリーも意識しなければならないという意見も出た。

日本設計 佐藤

- ・ 傍聴席の場所についても市民検討協議会と同様、傍聴している方から議員の顔、執行部の顔、両方見えるような形とすべきではないかという意見が出た。
- ・ 現況の議会フロアはセキュリティが甘く、入口が複数に分かれているということもあり、市民の方、あるいは市民の方でなくても議会フロアに勝手に入ることができてしまう。突然市民が入ってきたなど、はっとするようなこともあったそうなので、セキュリティへの配慮はお願いしたいという意見もあった。
- ・ 議会の様子がいつでもどこでもライブでも見られるように、議会の様子を庁内で放映するなど、議会運営の周知も図ってほしいという意見も出た。
- ・ 今後はこのような市議会からの意見についても、今後策定する基本計画へどのように反映するのかを考えていく。

<免震構造について>

- ・ 前回の市民検討協議会の中で、阪神淡路大震災で制震構造はいくつかのビルで大きな被害を受け破断等が起こったが、免震構造においてはそういった事例があったのかという質問を受けている。
- ・ 直下型地震に相当する阪神淡路大震災において、免震建物が甚大な被害を受けたという報告はない。むしろ、阪神淡路大震災を契機に免震構造の性能が評価され、免震構造を採用する建物が増加したという背景がある。直下型地震ではないが、直近の東日本大震災においても免震建物については十分な免震性能が発揮されているという報告がされている。
- ・ 東日本大震災における免震建物の被害報告があり、甚大な被害を受けてはいないが、エキスパンションジョイント（建物と周囲との間の金物）の不具合については報告されている。これについては構造躯体の被害ではないが、建物を継続的に使用するためには部分的な補修が必要であるという報告を受けている。
- ・ エキスパンションジョイント以外にも塗装のはがれやボルトのゆるみ等は報告されているが、それによって免震構造の機能が発揮できなくなるということではない。その都度、交換やメンテナンスをすることにより継続的に使用できると報告されている。
- ・ 本報告書は国土交通省国土技術政策総合研究所および独立行政法人建築研究所から発表されている「平成 23 年東北地方太平洋沖地震による建築物被害第 1 次調査宮城県・山形県における免震建築物の状況（速報）」であり、それをもとに回答した。

2 職員検討会における意見の紹介

伊橋 （※資料 1 参照）

- 茂木
- ・ 以上が職員検討会で出された意見のまとめであるが、職員検討会も現在第 6 回まで進んでおり、今説明した内容の意見が出ている。中でも災害時の必要な機能、対応、ユニバーサルデザインなどについては市民検討協議会と同様の意見が出ている。

- ・ 職員特有の意見としては、執務環境について、自分たちが働く場所について使にくいというような思いがあるという状況で、例えばカウンターと自分の机の間は、人が一人通れるくらいのすきましかなく、カウンターで相談している内容が聞こえてしまったり、カウンターから職員の作業をしている PC や書類が見えてしまうぐらい近いという状況の部署がある。
- ・ 相談内容について、他の方に聞かれたくない方も中にいらっしゃるが、個室がないため、そういった話ができないなど、気を遣って苦勞しているという意見が多かった。今後、新庁舎の設計に入中ではそういったことを解消し、かつ職員の動線などを考え、効率のよい仕事をすることで市民サービス向上へつなげていきたい。

(※次第 2 の中での質問)

委員 【質問】

- ・ 資料 1 の職員検討会第 2 回テーマで「府中市内で行われている行事で新庁舎において積極的に行うと良いもの」とあるが、他の施設でできるものがほとんどである。これを新庁舎でやる理由は何か。

茂木 ・ 実際にこれらの行事を新庁舎で行っていかうというわけではない。例えば今行われている場所が今後同じ場所でできるかどうかともわからない状況の中で、庁舎においてそういったスペースができた場合には、ここに出てきたイベントもできるのではないかという主旨である。

委員 ・ これらの行事をすべて行っていくには相当のスペースが必要となるのでは。

茂木 ・ 建物外に確保する災害時用スペースを、日常的にも活用出来るようにすれば、こういったイベントもできるのではないかという意味合いで提えている。これらのイベントを行うために、庁舎の規模を大きくするというわけではない。

3 府中市庁舎建設基本計画市民検討協議会提言書（案）について

茂木 (※資料 2 参照)

- ・ 委員の皆様から頂いた意見をまとめたものになる。
- ・ 1 ページは、「はじめに」ということで、委員の皆様が検討協議会を通して考えた想いを表記している。
- ・ 2 ページは、「協議会等について」ということで、検討協議会の発足などについての流れを紹介している。
- ・ 3 ページについては、「提言のまとめ」として、「市民に親しまれる庁舎」「府中らしい庁舎」「まちづくりの拠点となる庁舎」の 3 本に分けて整理している。
- ・ 4 ページ以降は、第 1 回目からテーマを設定させていただいているが、そのテーマに沿った意見や、その意見を集約し、8 ページまで記載している。
- ・ 9 ページは中に出てくる専門用語の解説、11 ページは今までの検討記録として、日程や場所、テーマを記載し、12 ページは本協議会の設置要綱、13 ページは委員名簿、14 ページ以降は庁舎建設府中かわら版を第 1 号から第 5 号ま

でを掲載する。

- ・ この内容については、本日この資料を持ち帰って頂き、11月29日（金）までに内容について訂正・追記等があれば事務局へFAX・メール・TELにてご連絡頂きたい。
- ・ その内容について事務局で協議を行い、修正したものを次回の第7回で示し、承認して頂きたいと考えている。
- ・ 次回に承認して頂いた提言書を市長へ提言書として提出することとなる。一般的にはこういった協議会から市長へ提言書を渡す際には、会長から提出することが多いが、今回の協議会では皆様が同じ目線で意見を出して頂くという主旨で行っていたので会長は設定していない。一人どなたかがというわけではなく、可能であれば今まで分かれてきたグループ毎に代表者を決めていただき、4人程度で市長へ提出したいと考えている。代表者については次回、各グループで決めて頂きたいがよろしいか。
（※よろしいとの声あり）
- ・ 市長へ提出する日程については平成26年1月24日午前10時としている。もし都合が付き、参加したいと考えている人はぜひ立候補して欲しい。
- ・ また、提言書（案）については、事務局で体裁等気づいたところは訂正する。その内容についても次回皆様にご説明する。

茂木 （※次第3の中での質問）

委員 【質問2】

- ・ 改めて職員検討会の意見を見て思ったが、電子決済や庁内マニュアルの統一などITに関連した意見が出ており、IT化はこうした庁舎の建て替えでないと抜本的な改革はできないと思う。職員検討会の中でITに関するテーマでの検討は行うのか。

- 茂木
- ・ 職員検討会も残すところ2回となっており、残っているテーマの中でITに関連するテーマは設けていない。全体的にテーマを設けずに気づいていることがあれば最終回で意見を言ってもらいたいと思っている。
 - ・ 電子決済を含めたIT化については、現在府中市で次期基幹システムという住基システムや福祉関係のシステムなどを統一させ、使いやすいシステムとする開発を進めている。それにつながる内容と考えており、情報システム課が中心となりそれぞれの部署に、使い勝手等ヒアリングを進めているところである。そのような計画も視野に入れ、市庁舎建設に反映させていく必要があると考えている。

委員 【質問3】

- ・ 市議会で市庁舎建設特別委員会というものがあると思う。市庁舎建設特別委員会と本協議会の関係性について教えて頂きたい。

- 茂木
- ・ 市庁舎建設特別委員会は年4回開かれる。委員会の委員に対して、現在進めている内容について我々担当者が説明する。こういった検討協議会も含め、どう

いうテーマで開催し、こういった意見が出ているのかという報告を行い、それを踏まえて委員さんの考えがあればその場で我々が受け、今後どう反映させることができるのか協議しながら、またその協議の結果等も報告していくという形をとっている。

委員 ・ 今回の提言書のようなものを、特別委員会にも報告し共有しているという理解で良いか。

茂木 ・ 提言書は市長へ渡すが、その内容については全ての議員に報告する予定である。

委員 【質問 4】

・ 議場の中に委員会室というものがあるが、委員会以外にも利用可能か。

茂木 ・ 現在の運用では、議会で使用する他、職員であれば空いている時に使わせてもらっている。会議室が少ないことや予約がとりにくい状況もあり、委員会室も活用している。

・ 市民へ開放しているわけではなく職員の会議であれば使用可能となっている。

委員 ・ 市民が使用するには不都合があるということか。

茂木 ・ 先ほどのセキュリティの話もあり、市民に開放するためにはしっかりとした動線の確保やセキュリティ面を固めた上で貸さなければならない。現在は残念ながらセキュリティが保たれていない。

・ 市民検討協議会の中でも議場の市民利用についての意見が出ているので、今後、設計などを進める中で、課題を解決しながら市民利用の実現性についても検討していきたい。

委員 ・ これからは多目的な利用も考えていかないと、会議室がいくらあっても足りない状況となると思うのでよろしく願いたい。

4 全体ディスカッション

茂木 ・ これまで検討してきたテーマに対する意見のほか、庁舎建設に関して伝えられなかったことなど、お一人ずつ発言して頂きたい。

・ この場で頂いた意見についても提言書に盛り込めるよう考えている。

委員 ・ 府中市の公共施設は現在延床面積 57 万㎡を所有している。その中で公共サービスを前提とした施設は地域に均等にあるとされている。近年地域ごとの人口やその構成に変化が生じ、ニーズの量と質が変化している。

・ 年数が経過しており利用率の低い施設や他の用途への転用使用が必要な施設、老朽化した施設があるということである。多くの施設が更新時期にきており、統廃合するなど利用状況を踏まえ適切に判断し、施設の中から一部を市庁舎に併設するなど、別棟でも建物外でも良いので市民が一層楽しく、来やすく、機能的で潤いのある庁舎群にして頂きたい。

委員 ・ 今後地方自治体の役割の拡大、地方分権ということで市庁舎はさらなる手狭化が想定される。新庁舎をつくったばかりなのに増築するなど、そういった

ことのないようある程度余裕を持ったつくりとしてほしい。

- ・ 10、20 年前にこの PC 時代を想定した人はいないと思う。今後も IT 化はさらに進むと思われる。現在は有線から無線へという流れであると思うが、無線にすれば会議室などで PC を使用する場合でも有線 LAN に左右されない。そういった IT 化をどう見込むか。電気容量などある程度余裕をみる必要がある。そういった細かい視点で検討していただけたらと思う。
- 委員 ・ 大國魂神社は府中市ができる以前からあった。文化財としての視点で郷に入っては郷に従えということで、効率化や新しいものをつくるという以前に守っていかねばならないものがこの町にある。
- ・ 新庁舎が建つことにより、自治会構成員がこの場所から去ることもあり得る。そうすると、文化や伝統を守る人が減るのではないか。市役所の中に弱小となってくる自治会構成員をより活性化できるような施設を配置してもらえると、新しいものができ、去る人が多少いても、それらを今度増やしていこうというようなコミュニティの場所が少しでもあるとありがたいと考えている。今回このタイミングで今言ったようなことを発言できて良かった。
- 委員 ・ 市民検討協議会に参加するにあたり、新庁舎ができたときに母親となっているイメージで意見を出していた。女性の視点から、男性ではわからないキッズルームや子供を連れて行けるような新庁舎が重要であると考えており、キッズルームや子供に対してのイベントを強化していただけたらと思う。
- ・ 子供が小さい頃から良く行くような環境が整っていれば、その子が親になった時も次の世代へ続いていくと思うので、そういったことを大切にしてほしい。また、母親にとっても気軽に相談できるコミュニティスペースができればよいと考えている。
- 委員 ・ 私自身は、この庁舎の建て替えの位置に土地がかかっており、いま思うのは、皆さんの意見を聞いている中で、将来の為により良い庁舎ができればと思った。いい所を残してもらって、より良い検討をしてもらってより良い庁舎が出来れば自分としては良かったかなと思える。
- ・ 小さい頃の思い出として、この敷地の隣には消防署や幼稚園があった。今庁舎が建っている西側は原っぱで、野球をした思い出がある。庁舎周辺は小さい頃の思い出が随分多くある。良いところを残して頂き、少しでも良い庁舎ができればよいと考えている。
- 委員 ・ 庁舎の直近に住む地元の意見としては、他の委員から出尽くしているので、それを拾っていただければ良い庁舎ができると思う。
- ・ 東京都府中合同庁舎が建設中だが、東京都から近隣に対し、工期、工程、工法、作業時間等の近隣説明会を開いている。新庁舎建設の際には、それらに加え、周辺に及ぼす影響や工事時の騒音、振動、粉塵等の説明を市にお願いしたい。

- ・ 意見として出ている市や市民主催のイベント等について、市庁舎の建物の中で行われる場合はよいが、市庁舎の外部で行われるときの近隣住民に対する騒音には配慮して頂きたい。JAZZinFUCHU 等は朝 11 時から夕方 5 時や 6 時頃まで大國魂神社で実施していたが、そもそも興味のない人間にとっては騒音でしかない。土佐のよさこいについても、けやき並木周辺に住む人にとってはうるさくて我慢を重ねて時を凌いでいる状況だと聞いている。たとえ一人、二人であっても市民に我慢を強いるイベントは役所の方に配慮して頂きたい。
- 委員
 - ・ 第 1 回から甲府市や青梅市など他自治体の様々な事例紹介を頂いたが、府中市が他市と異なる点として、文化センターが 11 ヶ所あり、役割を分散しているところがあるので、他市のように集約して独創的な個性を出したものは形が違うと考える。
 - ・ 現在、市民が参加する会議が増え、会議室が足りないという声を聞くが、ボランティアや民生委員、自治会など、そういった人が中心に集まって、やらなくてはならないというときの会議室は確保して欲しい。
 - ・ 子ども家庭支援センター「たっち」は、子育てノイローゼになりそうなきにでも母親が一時的に子供を預けられる親にとっては気の休まる施設である。こういった施設を庁舎の中に入れてはどうか。
 - ・ イベントの話も出たが、くらやみ祭などについても、今は無くなってしまった栈敷席を設け、市庁舎の中から観覧できて良いのではないかと。
- 委員
 - ・ 自分の会社で大規模改修工事等に携わっている。施設の設備が老朽化した際、建て替えなければ設備の更新ができないという現状があり、計画の初期段階から、設備更新時に更新しやすい設備を入れられるような計画が大切と思い、この市民検討協議会に参加した。
 - ・ これから府中に住みたいと思っている方に対し、府中に住むためにはどのような手続きを取れば良いか、どのような施設があるか、どのような利用ができるのかなどの情報発信ができる市庁舎であれば、より一層多くの市民を獲得でき、素晴らしい府中市になるのではないかと思う。
- 委員
 - ・ 5 点意見を述べたい。
 - ・ 1 点目は、市庁舎建設特別委員会が市議会に設置されていて、そこで議論されている内容の概要版でも良いので、本協議会委員にお知らせしたほうが良いのではと思う。私自身、何度か傍聴し、現敷地で建て替える案と、周辺の土地を買収し敷地を拡張して建て替える案とあり、後者はコスト面など様々な面から一番良く、それをベースに 150 億の予算がついているということであった。それが前提となり話が進んでいると思うが、知らない委員も多いので共通認識を図ったほうが良い。
 - ・ 2 点目は、免震構造を採用すべきということである。東日本大震災を通して、多少コストがかかっても持ちこたえられるような免震構造にするべきであ

る。50年の単位で改修しなければならないとなると、そちらのほうがコストがかかる。そうしたことを考えれば、今しっかりと費用がかかっても、しっかりと作るべきではないかと考えている。

- ・ 3点目は、再開発の特別委員会と市庁舎建設の特別委員会が別々になっており、本来は整合性をとる必要があるものではないかと市民目線で感じる。再開発でできる部分は再開発に委ね、市庁舎の建設でできる部分は庁舎でやるといった形にすれば、コストも抑えられるのではないかと。再開発は市の予算で160億をかけるので合わせて310億となる。これだけ短い期間にそれだけ大きな費用をかけるということは、府中市にとってこの何十年の中で一番大きな事業だと思う。それだけのことをやるからには、それぞれ別物として考えるのではなく、合わせて考えるべきだと思う。
- ・ 4つ目は、本協議会自体について。他の市民検討協議会ではほとんど意見が出ないと聞いた。今回、初めて市民検討協議会に参加したが、公募市民が多いためか非常に多くの意見が出ており、大変良かったと思っている。
- ・ 5つ目は、いろいろ良い意見も多く出たが、それらの意見がきちんと基本計画などに反映されるのかというところである。実際は、行政によって骨抜きにされてしまうことがありがちなので、そういったことの無いようにして頂きたい。

- 委員
- ・ 現庁舎が建ってから60年経ち老朽化している。非常時の拠点でもあるので、なるべく早く建て替えて欲しい。
 - ・ 府中街道から庁舎に出入りする車の渋滞を懸念している。新庁舎が供用された際に、どの程度の交通量となるのか、スムーズにいくのかということを気にしている。
 - ・ 近隣の立退きの問題、個人的な意見であるが、庁舎の上に住居的な感じもどうかと思った。

- 委員
- ・ 生涯学習センターで行われた公共施設マネジメントの話を聞いて少し考えが変わった。この庁舎は何回かに分けて増築されており、継ぎはぎの建物である。その中で、会議室がある北庁舎はまだ新しいほうで、公共事業マネジメントの話を聞いてから、北庁舎は残すべきではないかと思った。
 - ・ 様々な機能を庁舎に入れるという意見も出ていたが、庁舎は自治体の業務を行うところである。職員の仕事がしやすい環境とすることが一番大事であり、来庁者の手続きが速やかに終わるようにするべきである。それに伴う、子供を預かる場所やトイレの改良、段差のスロープ化などはいくつか必要だと思うが、イベントや展示会場、ホールなどの機能は必要ないと思う。
 - ・ 人口推移を伺ったが、大して減っていないというのが現状ということがわかった。人数はあまり変わらないが、活動している人数がどれほどいるのか。高齢者が半分以上を占め、こういった建物をつくっても活用できないのではないかと。今、子供が少ないため、30年後に仕事をし、いろいろな活動をし

ている人がどれほどいるのか。府中の場合は施設がたくさんあるが、フル活用できない状態になると思うので、減築していく必要もあると考える。ただ大きなものを作るということに対しては反対である。

- 委員
- ・ 今日で7回のうちの6回目となるわけだが、具体的に新庁舎の敷地面積がどれだけのもので、こういった形になるのか、ほとんど分からない状態で、建物の中身に対して議論した。
 - ・ 今後設計を進めていくのだろうと思うが、危惧しているのは他の委員からもあったように、府中街道の話で、この敷地が府中街道に面し、それに対する車の交通計画がどうなっているのか全くわからない。たとえば敷地西側部分に新しく信号ができた場合、交差点付近で渋滞が生じないのかなど、そういった問題のほうは、地元の人間としては関心がある。その辺もよく検討して頂きたい。
 - ・ もう1点、大國魂神社が脇にあり、カラスとハトが多くいる。子供の頃からずっとそうであった。現庁舎で、カラスやハトの被害が出ているのかどうか分からないが、この建物ができた場合、将来のカラスやハト対策についてはぜひお願いしたい。対策をしておいたほうがよいと思う。駐車場の出入口など、そういった入口に向かって入ってくる習性があるようなので、ハトとカラスの巣になると困りますので、配慮をお願いできればと思っている。
- 委員
- ・ 私はまだ大学生という身分でもあり、私自身の用事で市役所に来るということがあまりない。たまに利用する中で、庁舎内の案内表示が分かりにくいと感じている。市役所に来た際には、いつも案内表示とにらめっこして、この窓口では何をやっているのか、自分はどこの窓口に行けばよいか分からないということがあったので、初めて来庁した方でもすぐに分かるような表示を設置して頂きたい。
- 委員
- ・ 2点意見を述べたい。
 - ・ 1点目は、基本構想の現職員数をベースに新庁舎のボリュームを考えるとということだったが、過去の例を見るとどの自治体も数年経って手狭になる状態だったと思う。少し余裕を持たせて作ったほうが良いと思う。
 - ・ 人員整理を進めていくので職員は増えないと言われるが、実際には外部の施設などの人数は減るが、外部の施設を削減した場合、そこで行っていた業務と職員は本庁舎に行くこととなり、結果的に本庁舎の職員数は増える。他の自治体でも見られるので、その辺を考える必要がある。
 - ・ 民間委託を進めると職員は若干減るが、民間委託の従業員は増える。窓口がその典型的な例である。職員5人を削減すると、委託先の従業員が10人増える。余裕を持たせないと、5年10年先には狭くなってしまう。
 - ・ 2点目として、食堂や売店が福利厚生施設という考え方は古い。最近の自治体では食堂や売店は来庁者、職員のための利便性施設である。職員の福利厚生施設は無料で貸すが、都庁や他自治体であると利便性施設ということで全

- て入札となる。したがって、食堂の業者や売店の業者が使用料を払う。その辺も見直しを図り、収入を見込んではどうかと思う。
- 委員 ・ 何回も検討を重ね、市民の意見と職員の意見が出た。市民と職員それぞれがお互いに動きやすく、働きやすい、どちらかに偏ることのないバランスのとれた提言書とし、基本計画につなげてほしい。
- 委員 ・ 私は市民検討協議会というものに初めて参加した。最初はこういったものが全く分からなかったが、参加してみて皆さん非常によく勉強しており、私にとって、半分は分からないことを勉強しにきた感じがするくらい有意義な検討協議会であった。
- ・ 兄弟が調布市、小金井市におり、兄弟から府中市は生涯学習センターや大國魂神社、くらやみ祭などがあって非常に楽しい街だという感想を受けている。近隣他市から見ると、府中市は羨ましがられているように感じている。
- ・ 調布市に近い人や国立市に近い人といった庁舎から遠いところに住む人からすれば、レストランや売店などで市役所近くに住んでいることを羨ましがられる。新庁舎ができ、新しいレストランがオープンし、市価の半値くらいで美味しいものが食べられるということになると、庁舎に近い人だけが有利で遠い人はバスや電車に乗って来なければならないというのは不公平となるような気がする。
- ・ 庁舎から近い人も遠い人も、気持ちよく庁舎に来られることについて考えていた。委員の意見を聞いても、文化会館などで様々な活動をされている方がおり、府中はそういう点で、良い市であると思っている。この市民検討協議会で一層良くするための意見が出たので非常にうれしく思っている。
- 委員 ・ 私は専門的な知識も持ち合わせていないので、出された意見に対し毎回感心し、素晴らしい市民が沢山いるなと感じた。
- ・ 職員検討会についての意見は、きめ細かく何ページにもわたって出ており、なるほどと思う内容については、現庁舎が老朽化し劣悪な環境の中で仕事をされているので当然と思えることが多くあった。今後、専門家などの意見も新庁舎を建設する中に盛り込んでいただければと思う。
- ・ 個人的には歴史など府中市は武蔵の国で、千年も前に国府が置かれた重要な街であるということに対して市民の関心が薄いということが寂しく感じる。新庁舎には外観においても府中らしさを盛り込んでいただけたらと思う。
- 委員 ・ 市民検討協議会、職員検討会で様々な意見が出ている。想像するに、この意見が基本設計の仕様、要求項目に繋がって行くと思う。その際に、協議会や検討会で出た意見は相反する意見が多くある中で、それらの意見をどういう形で設計の仕様につなげていくかというプロセスを明確にして頂きたい。
- ・ 私は環境に関する仕事を行っており、そこでは環境影響評価法というものがある。そういった評価表を用いるなど、市民や職員が納得できるプロセスを明確にして頂きたい。

- ・ 市民も職員も貴重な時間を使って検討しているので、是非無駄にはしないで頂きたい。
- 委員
- ・ 費用と手間のかかる維持保全の面からお願いがある。2週間ほど前、東庁舎8階のコンクリート製の外部階段を見てきた。なぜかと言うと、4年前に、その場所を見て非常に気になっていたからである。8階から屋上に上がるコンクリート製階段の上げ裏部分のコンクリートが爆裂しており、錆びた鉄筋が3ヶ所露出していた。その部分をよく見ると補修をした形跡があった。予算の都合で簡易な補修工法を採用したものと思われ、補修材が2、3年で剥げ落ちていた。今回改めて、その場所を見てきた。結果は以前と同じように、錆びた鉄筋が三箇所露出しており、錆びの度合いも進行していた。鉄筋を錆びた状態にしておく、コンクリート強度を低下させる。建物の安全にとって非常に問題がある。市庁舎ですらこのような状態なので、ある時代に多く建てられた立派な箱物がどうなっているのか心配である。
 - ・ 府中市の建物の維持保全は相当遅れていると思う。この提言書に加えて頂きたいのは、費用と手間のかかる維持保全費用を低減する設計として頂きたいという事である。ある建物では、維持保全費用が当初の建設費を上回った建物もある。維持保全の費用を低減する設計をして頂きたい。
- 委員
- ・ 私自身、地方財政を学んでいるということもあり、税金の面から考えられることを話していきたいという思いで参加したが、市民が納めている税金が無駄にならないような施設をどう考えてくのかについて、具体的に自分の中で考えがまとまらず悔しい思いをしている。
 - ・ 行政として行っていかなければならないことは市民との協働である。そのためには新庁舎は市民に開かれているものであることが大前提である。それに対して、無駄なのではないかなど様々な意見が出てくると思う。しかし、必要なところに税金が回らないのは違うと思う。
 - ・ 20年30年先というスパンで、今後人口がどうなるかなど話があったが、市庁舎というのは50年に一度建てるというレベルの大きな問題だと思う。先のことは見づらいと思うが、それを忘れないようにするためにも、市民活動を活発に行う必要があると思うし、それを維持していくことも必要だと思う。また、企業が活発になっていくことも必要だと思うので、全て偏りの無いような、それを支えていく市政、それができる仕組みができれば良いなと思っている。私たちの意見が反映されるかどうか不安なところもあるが、よろしく願いたい。

5 その他

- 茂木
- ・ 出された意見などについては、時間の関係もあり全てお答えできず大変申し訳ないが、ここで、いくつかの意見について回答させていただく。
 - ・ 庁舎建設に伴う近隣への説明については、東京都府中合同庁舎で行われてい

るような説明に値するような、細かい対応をするつもりでいる。その段階に来たら、近隣、関係の方々にお知らせする。

- ・ 市民検討協議会での意見が基本計画に反映されるのかという点については、基本計画のどの部分にどう反映されたのか、反映されたところが分かる資料を作成する。中には実現が難しいものもあると思うが、基本計画の策定に合わせて、資料を皆様に送付し、報告させて頂く。
- ・ 本日頂いた意見について、反映できるものは提言書の中に反映していきたいと考えている。
- ・ 本日皆様へ配布した案についても、事務局の方でも見直しを図り、イメージ図をつけるなどさらに見やすく、わかりやすい提言書となるよう変更する場合もあるが、その内容も合わせて次回説明をさせて頂く。
- ・ 次回の開催は12月14日（土）午前10時から1時間程度を予定しており、ふるさと府中歴史館3階会議室で行う。
- ・ 市長への提言を平成26年1月24日に予定している。次回はそれに参加して頂く方を決め、提言書の最終確認を行いたいと思っている。

(※全体を通しての質問：無し)

第6回市民検討協議会終了（12:00）